

『モードのジャポニスム』

キモノから生まれたゆとりの美』



©The Kyoto Costume Institute

判型：A 4 変形 238 頁

(内カラー96 頁)

監修：内山武夫 (京都国立近代美術館)

深井晃子 (京都服飾文化研究財団)

金井 純 (京都服飾文化研究財団)

発行：京都服飾文化研究財団

1994 年

目次

ごあいさつ

論考 ジャポニスム概論

モードのジャポニスム

現代ファッションとジャポニスム

富山秀男 (京都国立近代美術館館長)

塚本幸一 (KCI 理事長)

高階秀爾 (国立西洋美術館館長)

深井晃子 (KCI チーフ・キュレーター)

リチャード・マーティン

(メトロポリタン美術館衣装部門キュレーター)

ハロルド・コーダ

(同アソシエート・キュレーター)

訳：上垣外憲一

作品解説

エッセイ：

ヨーロッパから見たジャポニスム

オギュスタン・ベルク

(フランス国立社会科学高等研究員教授)

訳：篠田勝英

長崎 巖 (東京国立博物館染織室長)

浅田 實 (創価大学文学部人文学科教授)

スーザン・マリ・ベスト (日本美術研究家)

訳：上垣外憲一

中島徳博 (兵庫県立近代美術館学芸課長)

江戸時代の小袖

東インド会社

ヨーロッパの服飾における浮世絵の重要性

ピングとジャポン

テクノロジーの需要

薬師寺泰蔵（慶應大学法学部教授）

ヨーロッパに咲いた日本の菊

白幡洋三郎

（国際日本文化研究センター助教授）

異国風俗と装飾 モネの「カミーユ」再考

稲賀繁美（三重大学人文学部文化学科助教授）

1920年フランスの漆 流行のアート、モードと芸術

イヴォンヌ・ブリュナメール

（前パリ装飾美術館館長）

訳：星埜守之

身をさばく ファッションの〈前衛〉としてのネオ・ジャポニスム

鷺田清一（大阪大学文学部助教授）

作品解説

年表

作家解説

文献目録